

読書の秋
だから...

本を読んでもみませんか?

～心に残る一冊を探しに、図書館・町田市民文学館へ出かけましょう～

本を読むことは人生を豊かにします。本を読んで、日常から離れ本の世界を旅するもよし、教養や知識を深めるもよし。本は、未知の世界や人との出会いも与えてくれます。心に残る一冊を探しに、ご家族で図書館・町田市民文学館へお越しください。全館で合計110万冊以上の本が皆さんをお待ちしています。



～本と出会う～



子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で、読書は欠かせません。子どもに、本と出会うきっかけを作るために図書館・町田市民文学館では、様々な取組を行っています。

おはなし会 -乳幼児から小学生-



おはなし会では、紙芝居や手遊び・わらべうた、素話などもやります。聞いて、見て、歌って! 全身で楽しんでください。



絵本は、夢、愛、勇気、ユーモア、面白さ、思いやり、悲しみなど、たくさん大切なものが詰まった宝箱です。

その洗練された美しい言葉が語り手によって語られることにより、物語の世界が生き生きと描き出され、子どもは自然にその世界に引き込まれていきます。

語り手の語りかけを通して、語り手と聞き手との間にあたたかな心の交流が生まれるのも、おはなし会の魅力です。

おはなしを読んでもらい、心地よいことばに触れた子どもは感情や言葉が豊かになります。お気軽に、楽しいおはなしの世界にお越しください!



ブックトーク -小学生から-

ブックトークでは1つのテーマでいろいろなジャンルの本を紹介します。今まで読んだことのない本や知らなかった世界に出会えますよ。

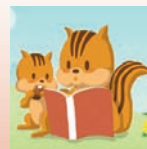
今日のテーマは「あな」!



あなの本?

ブックリスト -赤ちゃん向けから-

子どもたちにおすすめの本を紹介するブックリストを年代別に作成しています。新着図書案内「みんなでよう子どもの本」、「YA通信(中高生向け)」も発行しています。



ブックリストは図書館のこどもページで見られるよ。



としょかんキャラクター「よむぼん」



町田市では、教育委員会が作成した「第三次町田市子ども読書活動推進計画」に基づき、「自ら進んで本を読む子を育てる」を基本理念として、市民の方々と協力しながら、子どもたちがたくさん本と出会うように、様々な取組を行っています。

～文学の魅力を発見する～



町田市民文学館では、町田ゆかりの作家の展覧会や資料収集をはじめ、文学作品の映像化とタイアップした展覧会やトークショー、文学と美術がクロスする展覧会やワークショップなど、文学をとりまく様々なジャンルを取り込みながら企画展示を行っています。忙しい日常から離れて、ゆっくりと文学を堪能し、新たな魅力を発見する……。そんな素敵な時間を町田市民文学館でお過ごしください。

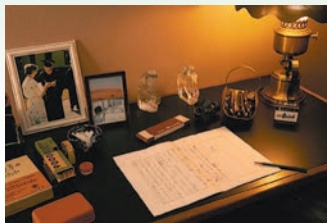
文学サロン



“ものがたり”や“ことば”の魅力に出会うサロンとして、様々な本を用意しています。コーヒーを飲みながら、本を読んだり、文学について語り合ってみませんか。



開館記念展▶
遠藤周作
書斎コーナー
撮影:
池嶋徹郎



町田ゆかりの作家の自筆原稿や所蔵図書など、貴重な資料を閲覧することができます。文学を肌で感じてください。



▲遠藤周作、赤川次郎、白洲正子の自筆原稿



▲三島由紀夫から遠藤周作に贈られた書籍

大人のためのおはなし会



民話や昔話、町田ゆかりの作品を、「語り手」が味わい深く語ります。文字を離れ耳から入ってくる作品には、ひと味違った感動があります。おはなしの世界にたっぷりひとたってください。

展示室



町田ゆかりの文学を中心に、絵本やマンガ、ことばや文学など、幅広く文学を捉え、年間4回の企画展を開催しています。展覧会についての詳しい情報は、4面をご覧ください。

学習支援ボランティア 募集中!

教育委員会では、①子どもたちの教育をよりよいものとする②生涯学習社会を実現する③地域社会の教育力を向上させる、の3つの事業目標のもと、地域人材による学校支援活動を推進しています。

現在、多くの保護者、大学生、地域、大学、企業、NPOの方々が、ボランティアとして、登下校の見守り、学校花壇の整備、クラブ・部活動支援、授業中・放課後・夏季休業中の学習支援など、学校ニーズに対応した幅広い分野で、町田市の学校教育に携わってくださっています。

未来を担う子どもたちの教育に、皆さんの知識や経験を生かしてみませんか？

総合的な学習の時間のゲストティーチャーや、授業中や放課後学習の子どもたちの学習のサポートなど、子どもたちの学習活動を支えてくださるボランティアを募集しています。

活動に興味・関心があり、平日の日中の活動が可能なお方(個人・団体)は、ぜひご連絡ください。

問い合わせ

指導課 学校支援センター ☎724・4069

ホームページ

<http://www.city-machida-gakkoshien.org/>

町田市学校支援センター

検索

◆町田市学校支援センターは、市民の方々のご支援をいただきながら、学校教育の充実を図る目的で設置された「学校支援ボランティアの総合窓口」です。

活発な学習支援 ～学習支援ボランティアの取組～



▲中学校の放課後学習
教職を目指す大学生や地域の方々が、生徒の学習をサポートしています。



▲小学5年 総合的な学習「稲作体験」
地域の田んぼをお借りし、地域の方などに教わりながら、田植え体験をしました。

専門的な知識や経験をもつ地域の方、教職を目指す大学生の方など、多くの方々にお力添えをいただいています！



▲小学5年 総合的な学習「環境学習」
市民大学で学びを深めた方々を講師に、水質検査をしたり、川のゴミ拾いや水棲生物を探したりしました。



▲小学3年 総合的な学習「絵手紙」
絵手紙協会の方から、筆の扱い方、描き方、色のつけ方などを教わり、絵手紙を書きました。

第3回 忠生・小山田地区小学校交流会

サマースクール in 日大三が開催されました

忠生・小山田地区の市立小学校に通う児童が、日本大学第三中学校・高等学校(以下、日大三)を舞台に、教科・スポーツ等の各講座を通して交流を深める「サマースクール in 日大三」が開催されました。

本事業は今回で3回目となり、異なる小学校に通う児童同士や、小学校と日大三が交流を深める夏の恒例のイベントとして定着してきました。今回は、これまでの中で最多の296名(7校)の児童が参加しました。



7/27(月)
8/25(火)

おもいで

～児童の感想から～

〇いろいろなことを体験できて面白かった！
初めてで難しいものもあつたけど、すぐ面白かった。もっとやってみたくて思った。
〇他の小学校の子と仲良くなれた！
一緒に楽しく話せてうれしかった。同じスポーツをやっている人と仲良くなれた。

〇日大三の先生や生徒がとても優しくかった！
思い通りにいなくても、丁寧に教えてくれたり、励ましたりしてくれました。
〇また来年も参加したい！
もっとイベントの時間を長くしてほしい。

便利になりました

中学校給食申込方法と給食費払込方法の変更のお知らせ

9月から、中学校の給食に関する手続きが便利になりました。
主な変更は次の2点です。

①申し込みが、学期内の連続した月であれば、複数月分をまとめてできるようになります。

②給食費の払い込みが、コンビニエンスストアで出来るようになりました。

学校への給食申込書の提出期限は、原則給食を食べる月の前月8日、給食費の払込期限は前月20日です。(期限日が土・日曜日、祝休日の場合は日程が前後します。)

払い込みが確認できない場合は、給食の提供が出来ませんのでご注意ください。詳しくは給食申込書の裏面及び町田市ホームページをご覧ください。

☆2学期分の献立は町田市ホームページに掲載しています。
町田市ホームページ
子育て・教育V教育委員会V学校教育V学校給食V中学校給食

問い合わせ

保健給食課 ☎724・2177

ある日の献立



カレーピラフ、鮭のレモンハーブ焼き、じゃがコーンのミルク煮、揚げ豆腐の野菜あんかけ、キャロットラペ、牛乳



▲新しい校舎の建設が進んでいます

問い合わせ
教育総務課
☎724・2173

鶴川第一小学校の改築工事が進んでいます。
鶴川第一小学校の改築工事が進んでいます。
現在は、校舎棟の4階部分を造っています。
2016年3月には校舎棟の工事が完了し、4月から新校舎での授業を開始する予定です。
2016年度以降は、引き続き給食棟及び体育館棟の改築や校庭の整備を進めていきます。

南大谷中学校・町田第五小学校・南大谷小学校 ～3校で連携し、9年間を見通した取組を実施しています～

互いの取組を発信、よさを理解し、相互に影響し合う南大谷中地区

学力向上の取組 - 自学自習の習慣と、基礎・基本の確実な定着 -

教育委員会が指定する『学力向上モデル地区』として、3校で連携し、9年間を見通した学力向上策を推進しています。



- 基礎学力確認テキスト（国語・社会・算数）
進学前の6年生に中学校で作成したテキストを配布して、復習を行い、自学自習の習慣を身に付けて、中学校をスタートさせます。
- 習熟度別少人数指導（国語・社会・算数）
「学力向上支援員」が、一人一人の子どもにきめ細やかな学習支援を行っています。
- 放課後学習教室
放課後に地域の「学習支援員」の方々に補助していただき、子どもが自らの課題に応じて自主的に学習活動に取り組む場を設けています。
- 家庭学習の促進
日々の家庭学習では、ノート1ページ分、子どもが自ら内容を決めて取り組み、自己の課題を発見しながら、主体的に学ぶ姿勢を身に付けています。
- 相互の校内研修会、授業参観
3校の教員が、子どもたちの学習の状況や課題等を共有し、指導の工夫・改善を行っています。

学校生活の交流 - 小から中への円滑な移行 -

生徒会による学校紹介

南大谷中の生徒会が、3月に町五小・南大谷小へ行き、6年生に中学校の活動を発表しています。



部活動体験・部活動発表会

夏休み中に町五小・南大谷小の4～6年生が南大谷中の部活動を体験します。また、南大谷中で部活動発表会を行っています。

小学校連合運動会

10月20日、南大谷小を会場として、町五小と南大谷小の第1回目の連合運動会が開催されます。さらに、次年度以降は、南大谷中を会場に実施することが予定されています。



特色ある取組 - 地域と連携して -



防災宿泊体験

地域のボランティアの方々が中心となって、大災害時を想定して、小・中学生が学校の体育館で一晩過ごす体験を行っています。

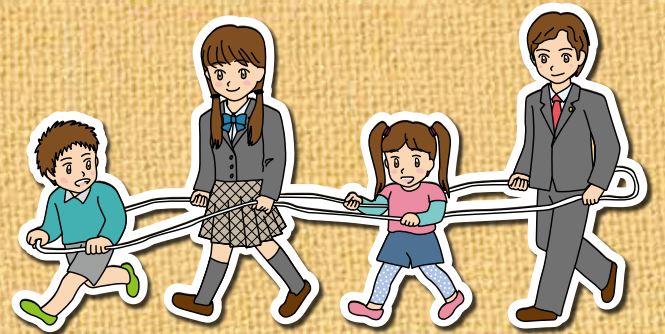


フラッグアート
(小・中・大・地域連携)

町内会・玉川大学など、地域と連携して、小・中学生がフラッグアートを制作し、玉川学園の駅前や恩田川沿いに展示をしています。

9年間の育ち支える、学びつなげる
まちだの小中連携

市立小・中学校では、小中9年間を見通して、小・中学校の教育活動の連続性を確保し、学力の向上に向けた取組や心身の発達段階に応じたきめ細やかな指導を行うため、地区ごとに小中が連携した様々な取組を行っています。全20地区の各取組を、今回から10回にわたってご紹介します。



木曽中学校・木曽境川小学校

子どもの健やかな成長を支える、小・中・地域の交流

木曽境川小学校の大半の卒業生は、木曽中学校に進学します。そのため、従前から木曽境川小学校と木曽中学校は、同じ地区内の学校同士連携し、地域の方々とともに子どもたちを見守り、育ててきました。子どもたちがこの地域で、安心して楽しく学校生活を送り、心身ともに健やかに成長することができるよう、これからも小中両校で子どもたちの9年間を支えていきます。



小中合同地域清掃活動

小学4年生と中学2年生が、地域の方と一緒に地域の清掃を行い、地域貢献と、環境やマナーに対する意識を身に付けます。中学生には小学生を思いやる気持ちが、小学生には中学生への信頼感や憧れの気持ちが生まれる機会にもなっています。



地域の方の見守り

毎日、地域の方が声をかけながら、見守ってくださっているおかげで、子どもたちは安心して登下校することができます。この光景は、10年以上続いています。



体育実技講習会

体育科を専門とする木曽中学校の山口校長が、木曽境川小学校の教員を対象に、器械運動の指導方法について講習会を行いました。



小中合同教員研修会

小中の教員が、授業参観や意見交換を通して指導内容や子どもたちの生活の様子などを共有し、学習面と生活面で、小中一貫した指導を行います。今年度は木曽境川小学校が公開した授業をもとに、指導のねらいや授業の工夫について話し合いました。



6年生サマースクール@木曽中

毎年、小学6年生が夏休みに木曽中学校で授業と部活動を体験します。「中学校に対する不安もあったけど、行くのが楽しみになった。」という感想が聞かれています。

来て！見て！楽しんで！

第4回 生涯学習センターまつり

生涯学習センターまつりは、生涯学習センターを主な活動場所としている市民団体等が中心となって作り上げるイベントです。ダンス、太鼓、楽器演奏、陶芸、絵画など、様々な分野の団体が日頃の成果を披露したり、作品を展示したりしています。来場者も一緒になって参加・体験できる企画や、お子さんも楽しめる企画もあります。是非、生涯学習センターまつりにお越しください。

▲昨年度の生涯学習センターまつりでの発表の様子

開催日：10月23日(金)～25日(日)
会場：生涯学習センター

問い合わせ
 生涯学習センター ☎728・0071

生涯学習ボランティアバンク制度を活用してみませんか？

生涯学習センターでは、市民の皆様の学習活動を支援するために「生涯学習ボランティアバンク」を設立しました。PTAや町内会等の団体が開催するイベント、講座・講演会で講師等を行うボランティアを紹介しています。

▲生涯学習ボランティアによる講座の様子

▲生涯学習ボランティアによる講座の様子

なお、ボランティアの一覧は、町田市ホームページまたは生涯学習センター窓口でご覧いただけます。お気軽にご相談ください。

問い合わせ 生涯学習センター ☎728・0071

自由民権資料館2015年度第2回特別展 水をめぐる生活誌

入館無料

会期 10月10日(土)～11月29日(日) 9時～16時30分
休館日 毎週月曜(月曜が祝日の場合は翌日)

今回の特別展では、人間の生活に欠かすことができない「水」との関係にスポットを当てます。特に農業と水利用の関係、大雨や台風などの自然災害への対処と復興、大山詣りに代表される水をめぐる信仰などを中心に、「水」を通して人々の暮らしと風土を見つめます。

関連イベント

【記念講演会】
 11月15日(日) 14時～16時
「武相の大山信仰」
 西海賢二氏
 (東京家政学院大学教授)

【探索・上総掘り井戸】
 11月8日(日) 9時～13時

【薬師池・鶴見川周辺をめぐる】
 11月23日(月・祝) 9時～13時
 (いずれも詳細は『広報まちだ』、町田市ホームページに掲載予定)

【ギャラリートーク】
 毎週土曜日 14時～(1時間程度)

問い合わせ 自由民権資料館 ☎734・4508



▲溜井(薬師池) 絵図



▲図師町の水門

町田市民文学館ことばらんど 秋の展覧会

没後25年 日影丈吉と雑誌「宝石」の作家たち展

一日影丈吉・江戸川乱歩・横溝正史・城昌幸・山田風太郎一

会期 10月17日(土)～12月20日(日) **【無料観覧日】** 10/17・10/25・11/3・12/20
休館日 毎週月曜日、毎月第2木曜日 **開館時間** 10:00～17:00
入館料 大人400円 65歳以上・大学生200円 高校生以下無料

晩年の約20年間を、原町田で過ごした作家・日影丈吉(1908-1991)。戦後の推理文壇に文学性の高い異色作を発表し、江戸川乱歩に高く評価された日影丈吉と、雑誌「宝石」誌上で活躍した横溝正史、山田風太郎、編集者を務めた城昌幸ら、戦後の推理小説界を牽引した作家たちをご紹介します。

【関連イベント】
 11月15日(日)14時～16時
「偏愛蔵書室—文学の舶来幻術師 日影丈吉—」 諏訪哲史(作家)

問い合わせ 町田市民文学館ことばらんど ☎739・3420



▲日影丈吉 自筆挿絵「ねずみ」

連載 町田市歴史の一コマ 鶴川地区の掘抜き井戸

市内を流れる鶴見川の流域を中心に、かつて掘削された掘抜き井戸を見ることが出来ます。この掘抜き井戸は、いわゆる「上総(かずさ)掘り」によるものです。千葉県の上総地方で確立されたこの技術がどのようなルートを経て、ここ多摩の地にもたらされたのか、興味がかかります。

二代にわたり「井戸屋」を営んできた能ヶ谷町の神蔵喜代勝氏のお宅には、櫓を組んで行われた掘抜き井戸掘削の作業を伝える写真や日誌などが残されています。

現在は、神蔵氏を中心に市民有志の

方々による掘抜き井戸の調査や、井戸のあった場所等の記録が進められています。



▲現在も市内にある掘抜き井戸



▲井戸掘削のための櫓

連載 遺跡が語る土地の記憶 梶山神社北遺跡(弥生と古墳時代の集落跡)

この遺跡は三輪小学校の新設に伴い1979年の7月から11月にかけて発掘されました。敷地内の約2500㎡が調査され、約2000年前の弥生時代中期(住居2軒)と6～7世紀の古墳時代後期(同15軒)のムラの跡が発掘されました。

注目すべきは弥生時代中期の小さな甕形土器です(左下写真)。これは火事で燃えてしまった竈穴住居から、どこも欠けず出土したものです。高さ14.5cm、脚台の付いたスマートな優品です。口に近い部分には細かい縄文の文様が、胴部には竹管による線状

文が描かれ、その上にはボタン状の貼付文が散りばめられています。文様の特徴から南関東では少数派の中部地方の土器様式と思われれます。町田では、弥生時代にも広範囲にわたる交流があったことがわかります。



▲弥生時代中期甕形土器